

再生可能エネルギー に投資を行う多 くの理由

- » 完全に持続可能であるという目標の達成に真剣に向き合う事業向けの安定した再生可能エネルギーが豊富である
- » 風、バイオマス、地熱により生産した再生可能エネルギーを国内のエネルギー市場に買い取ってもらう機会がある
- » 競合可能な小売エネルギー市場における競争を促す機会がある

再生可能エネルギー

タスマニアはオーストラリアの再生可能エネルギー分野のリーダーであり、再生可能エネルギー分野への投資を考えている、もしくは再生可能エネルギーの使用や生産をとおして完全な持続可能性を達成することを望み、先を考えている投資者にとって説得力のあるロケーションです。タスマニアは消費者のための新基準による競争を効果的に追加することができる新規の電力小売り業者も歓迎しています。

タスマニアは再生可能エネルギー生産開発における先駆者であり、再生可能エネルギーのインフラストラクチャーやテクノロジーへの投資を100年以上続けています。長年の経験により、他に例を見ない水準の再生可能エネルギーに関するタスマニアのエンジニアや技術者が持つ技術や専門知識の開発が後押しされています。

タスマニアは州の大部分の需要を満たす再生可能エネルギー供給、また他州への出荷によって黒字を上げていることから羨望される立場にあります。この再生可能エネルギーは主にタスマニアの持つ大規模な水力発電及び貯蔵計画によるものですが、風力発電地帯からの多大な貢献もあります。



タスマニアは大規模な水資源からの恩恵を受けており(タスマニアの土地面積はオーストラリア全体のわずか0.9パーセントであるのに対し、国の総水資源の12パーセントを占めています)、さらに州が「ロアリング フォーティ」による激しい西風を受けるのに完璧な位置にあることから大規模な風資源を誇っています。2015年6月時点におけるタスマニア本土の総発電設備容量は2976MWであり、水力発電は2281MW、地熱発電は387MW、そして風力発電は308MWでした。流通ネットワーク内において設備された発電機の数も増加しており、小規模な太陽光発電機がタスマニアで使用されるエネルギーの約1パーセントを提供しています。

さらにタスマニアは他のオーストラリアの州や準州と比べ、一人当たりの温室効果ガス排出量が最も低いです。最新の排出量を示す数値によると、タスマニアは1990年の水準に比べ排出量が90パーセント減少していることが示されています。オーストラリア クリーン エネルギー協会による最新のクリーン エネルギー オーストラリア レポートによると、タスマニアは再生可能エネルギーの浸透(90パーセント以上)が最も前進している州あり、続いて南オーストラリアの40パーセント、そして西オーストラリアの13パーセントとなっていることが明らかになりました。

タスマニアはバスリンク インターコネクターを介した電力の輸出入による恩恵を受けており、タスマニアの再生可能エネルギー供給が他州におけるピーク時の需要を満たすという重要な貢献をしています。他の州に存在する多くの古い石炭火力発電所が稼働を停止している中、タスマニアは発電力の差をなくすために再生可能エネルギー供給量を増加することが可能です。

1. www.soer.justice.tas.gov.au/2009/wat/3/issue/20/index.php

タスマニアはオーストラリア内の島から成る州です。オーストラリア本土より南に240kmの位置にあり、北部から南部までの距離は296km、そして東部から西部までは315kmあります。南緯42度にあるタスマニアは穏やかな温暖海洋性気候であり、人口はわずか518,000人を上回る程度です。



タスマニア — 電力システムの概要

タスマニアの電力供給業界は発電、送電、配電、そして小売セクターから成り、バスリンク インターコネクターを介した全国统一市場との関係もあります。この枠組みに関連するタスマニア電力供給業界の主な参加会社は次のとおりとなっています：

全国统一市場 (NEM) — タスマニアを含むオーストラリアの5つの州をまたがる電気の卸売り商品取引を行っています。NEMはオーストラリア政府評議会 (COAG) によって設立された、オーストラリア エネルギー マーケット オペレーター (AEMO) によって運営されています。

ハイドロ タスマニアとしての商号を持つ水力発電会社 (HEC) — タスマニアにおける大部分の電力発電に関する資源を所有し、運営を行っている政府事業です。

タスネットワークス — 州によって所有されている会社であり、タスマニア内の電力送電及び配電システムを所有し、運営を行い、そして電気通信ネットワークのサポートを行っています。

オーロラ エネルギー — 州によって所有されており、タスマニアにて運営を行っている小売業者です。

ERM電力 — 個人所有のエネルギー小売業者で、タスマニアにて運営を行っています。事業顧客にサービスを提供しています。

バスリンク — タスマニアと本土ビクトリア州の電力送電システムを繋げており、タスマニアによるNEMへの参加を可能としています。バスリンクは株式市場に上場しているシンガポールを拠点とする事業信託であるケッペル インフラストラクチャートラストによって所有されています。

「2015年6月時点におけるタスマニア本土の総発電設備容量は2976MWであり、水力発電は2281MW、地熱発電は387MW、そして風力発電は308MWでした。」





全国統一市場

全国統一市場 (NEM) は世界で最も長い連系電力系統の1つを運営しており、オーストラリアの東海岸から南東海岸、そしてバスリンクインターコネクターを介してタスマニアの内部までに及ぶ、およそ5,000kmに広がります。オーストラリア エネルギー マーケット オペレーター (AEMO) によって運営されている全国統一市場 (NEM) は電気の卸売り商品取引を行っており、中央制御による発送過程をとおして供給と需要がリアルタイムで同時に満たされるスポット市場としての役割を持っています。

この市場は5つの州を拠点とするネットワークにまたがる送電系統によって成り立っており、複数の州をまたぐインターコネクターが物質的に市場を繋いでいます。インターコネクターによって繋がっている5つの州は相場地域としての役割を持っています。この州はクィーンズランド、ニュー サウス ウェールズ (オーストラリア首都圏を含む)、南オーストラリア、ビクトリア、タスマニアです。

NEMの送電ネットワークはおよそ40,000kmに及ぶ送電線やケーブルから成り、電力発電機から5つの州にある大規模な工業エネルギー使用者や地元の電力配電業者へと送電を行います。これらの資源は州政府や個人事業によって所有され、運営が行われています。NEMの登録参加企業数は100を超えており、市場における発電業者、送電ネットワークサービスプロバイダー、配電ネットワークサービスプロバイダー、そして市場顧客などが含まれます。NEMの総電力発電容量は約50,000MWであり、およそ900万人の顧客に年間約200テラワット時の電力を供給しています。

下記は、タスマニアがNEMに関わったことによる主な統計のグラフです。NEMにおける2014 - 2015年の総売上高 (スポット価格を売却量にて乗じる) は約80.9億オーストラリアドルであり、タスマニア市場においては3.647億オーストラリアドル (総市場取引高の4.53パーセント) でした。

全国統一市場売上高 2014 - 2015 (\$百万)²

	7月-9月	10月-12月	1月-3月	4月-6月
NEM全体	1 822.22	1 944.52	2 599.71	1 672.84
NEMオーストラリア本土	1 727.06	1 851.67	2 511.93	1 583.97
タスマニア	95.16	92.85	87.78	88.87
NEMにおけるタスマニアのシェア	5.22%	4.78%	3.38%	5.31%
タスマニア市場平均価格 \$/MWh	36.56	40.29	39.33	34.33

ハイドロ タスマニア グループ

ハイドロ タスマニア グループはハイドロ タスマニア、エンチュラ、モーメントム エネルギーから成ります。ハイドロ タスマニアとしての商号を持つ水力発電会社 (HEC) は認可、そしてタスマニアにおける大部分の電力発電に関する資源を所有している政府事業です。

ハイドロ タスマニアはオーストラリア最大の再生可能エネルギーの生産会社であり、通常再生可能エネルギーにより年間9,000 GWhを超える電力を生産しています。HECは水力発電所30ヶ所、主要ダム55ヶ所を所有、運営しており、タスマニア本土の風力発電所2カ所を運営、一部所有しています。

さらに、ハイドロ タスマニアはバス海峡の島にあるディーゼル発電所2カ所及び風力発電所1カ所を所有し、運営しています。

エンチュラにはクリーン エネルギーの革新に関して100年の経験があり、世界で最も経験のある電力や水のコンサルタント会社の1つです。

モーメントム エネルギーはHECの小売業者であり、電力、ガスをオーストラリア本土の事業や住宅用顧客に販売しています。

² タスマニアにおけるエネルギー - 2014-15年 パフォーマンスレポート、タスマニア経済規制局



タスネットワークス

タスネットワークスは州によって所有されている会社であり、タスマニア内の電力送電及び配電システムを所有し、運営を行っています。タスネットワークスは認可を受けている配電、送電会社として、高電圧送電系統からほぼ全ての顧客の場所まで物理的に配電を行う担当をしています。タスネットワークスは外周3,577kmの送電線と地下ケーブル、送電変電所49ヶ所、そして開閉所7カ所を所有しており、運営及び維持を行っています。そして22,400kmに及ぶ架空線や地下ケーブル、227,000本の電柱、大規模な配電変換所18ヶ所、そして小規模な配電変換所33,000ヶ所をとおして配電を行っています。小型発電や太陽光発電(PV)でグリッド接続された設備が26,000ヶ所あり、配電ネットワークと繋がっています。TasNetworksはどの小売業者から電力が購入されたのかに関わらず、電柱やワイヤーのネットワークの担当をしています。

タスネットワークスには革新、顧客への取り組み、そしてエネルギー市場の組織が技術的ソリューションを開発しネットワークの有効使用のサポートを行う歴史があります。これにはネットワークの動的レートや運営、さらに様々な制御方式によって可能なネットワーク容量の利用を最適化を行うことも含まれます。これらの計画については後述されています。タスネットワークスはタスマニアの状況を考慮した新技術を試す試験も数多く行っており、これには住宅用蓄電池の試験、電気自動車の試験、遠隔地における電力供給ソリューション、そして最新計器によるネットワーク料金の試験が含まれます。

タスネットワークスは1,675kmに及ぶ光ファイバーケーブルへのアクセスの提供や丘の頂上に位置するマイクロ波無線電気通信施設38件による電気通信ネットワークを所有し、運営しています。このネットワークはタスマニアの全ての主要施設に届いており、様々な政府、商業顧客にサービスを提供しています。このネットワークは発電資源のためのコミュニケーション運用やネットワーク保護計画を含む、タスマニア電力システムの安全運営に重要なものです。

インフラストラクチャー運営やメンテナンスに加え、タスネットワークスでは顧客に対し広範囲に渡る専門的なテクニカルサービスを届けるという重要な素質を持っており、そのサービスには計測、電気工事請負、プロジェクト及び資源管理、システムの計画及び開発、そして資源監視及び調査サービスが含まれますが、これに限りません。

オーロラ エネルギー

オーストラリアの電気小売市場では大規模な競合が行われており、北部準州及び西オーストラリアを除いた全ての州において電力供給会社の選択肢があります。

2014年7月1日、タスマニアにおいて小売競合が開始しましたが、現在でも小規模な顧客への競争が欠けています。オーロラ エネルギーと競合し、代替となるべく住宅用顧客市場に介入している電力小売会社は存在せず、一方ERMは中規模から大規模の多数の事業顧客を対象に小売サービスを提供しています。

オーロラ エネルギーはタスマニア州政府によって所有されており、タスマニア全土の住宅や事業に電気やガスの小売りを行っています。

バスリンク

バスリンクはタスマニアとビクトリア間における電力インターコネクターであり、タスマニアと全国統一市場間において電力の取引が行われるようにしています。この市場では一定して500MW(タスマニアから)を輸出し、478MW(タスマニアへ)を輸入すると定格されており、タスマニアからの輸出では限定期間において最大で630MWになることもあります。バスリンク全体の電流運営については電力の価格や周波数制御の付属サービス料金によって異なります。タスマニアの再生可能エネルギー供給によって、バスリンクを経由した他州のピーク時の需要水準に応えるという重要な貢献が既に行われているのは明白です。

バスリンクによる高水準の送電はネットワーク制御システム保護計画(NCSPS)及びタスマニアのネットワーク上において特定の不測事態が起きる、またはバスリンクの供給停止がある際に、契約済みの発電機の引き外しや増加を行う周波数制御システム保護計画(FCSPS)によってサポートされています。さらにバスリンク制御システムには周波数制御機能があり、タスマニアのシステム周波数の変化に対応しています。バスリンクはオーストラリア本土とタスマニアのネットワーク間の周波数の違いに対応するために送電の調整を行うことが可能です。バスリンクはネットワーク間において周波数制御補助システム(FCAS)を転送する方法を提供しており、それによってタスマニアにおける電力システムのセキュリティの維持を支えています。

タスマニアにおける機会

タスマニアには、再生可能エネルギーへの投資をお考えの方に向けた機会が主に3つあります。

1. 完全に持続可能であるという目標達成に真剣に向き合う事業向けの安定した再生可能エネルギーが豊富です

タスマニアは環境上持続可能なロケーションにおいて集中的な電力を基盤とした運営のための、強固でコスト競争力のある代替策を届けています。

タスマニアはオーストラリアにおける再生可能エネルギーの州であり、90パーセント以上の島内における発電は再生可能エネルギーを資源としています。その結果、送電システムで購入された電力の排出量がオーストラリアの州や準州において最も低く(0.12kgCO₂ - e/kWh⁽³⁾) になりました。この排出に関する事実は、事業目的の国家温暖化エネルギー報告(NGER)においても使用することができ、タスマニアの事業運営に関わる持続可能性の報告を行う利点にもなり得ます。

ハイδρο タスマニアは投資者に対して長期間の魅力的な電力価格の保証を行うことも可能です。

データセンター

タスマニア州政府は、タスマニアが持つ再生可能エネルギーの利点と穏やかな気候(外気温)、そして水資源を統合することにより、ICTやデータセンター投資への素晴らしい機会が存在することを認識しています。

すでに市場の関心を引いているという特性もあり、パースに拠点を置くデータセンターサービス会社のレッドクラウドがタスマニアに4,000万ドル規模のティア3データセンターを設立するという決定を歓迎しています。レッドクラウドによると、タスマニアは投資に最適なロケーションであるとのことでした。

タスマニアにはデータセンターの設立や進行中の活動のサポートを行うことができるタスマネットワークス、テルストラ、TasmaNetなどの専門企業が多数存在し、様々な顧客へサービスを提供しています。

製錬の機会

タスマニアにはシリカやスズを基盤とした最先端の製造業の設立に必要な主要要素が備わっています。再生可能エネルギーのインフラストラクチャーに加え、タスマニアには高純度の産業用シリカの資源、及び大規模なスズ鉱があり、必要なインフラストラクチャーが近距離にある、適切なロケーションです。さらに、タスマニアには有能で技術を持つ労働力、価格競争力のある電力、そして安定して心地良い事業環境があります。

現在オーストラリアにおいてスズ製錬は行われておらず、タスマニアのスズは主にマレーシア、タイ、そして中国の製錬業者にまとめて送られています。オーストラリアは世界におけるスズ資源のうち5.7パーセントを抱えていることが分かっており、この内の80パーセント以上(経済的に実証された資源)がタスマニアが占めています。このスズ鉱はローズベリー周辺にあるレニソンベルのスズ鉱であり、オーストラリアで最大のスズ生産会社であるブルーストーンマインズタスマニアによって採掘されました。

タスマニアの高純度で低鉄のシリカは様々な高価値の製品生産に適しており、あらゆる特定分野における活用による価格プレミアムの関心を引いています。タスマニアのシリカ資源業界には積極的に将来性を見出すプロジェクト及び生産段階プロジェクトが含まれており、これらはタスマニアの南部、西海岸、そして北西海岸におけるシリカの堆積量に基づいています。

2. 風、バイオマス、地熱による再生可能エネルギーを展開する機会

タスマニアには独特な投資機会があり、再生可能燃料資源には多様性があります。タスマニアは高品質の自然資源に恵まれており、開発現場も整っています。再生可能エネルギーの分野において、支持者はタスマニア内における事業や業界と連携を行ったり、本土のNEM参加会社への供給を行うといった、更なる機会が存在しています。

バスリンクはNEMと繋がっているオーストラリア本土の州がタスマニアに既存する充実した水や風の再生可能エネルギー資源によって生産された電気にアクセスできることを可能としており、さらに再生可能エネルギー資源の設立、もしくは投資を考慮している支持者に対してはNEMへのアクセスを行う可能性のオプションを届けています。環境に優しい電力を選択することにより、オーストラリア本土の顧客は二酸化炭素などの温室効果ガスの発生量を低減することが可能となります。この大きな市場はグリーンエネルギーへの投資の追加も奨励しています。オーストラリア市場をタスマニアへ開くことによって、バスリンクはタスマニアでの革新や投資を後押ししています。

オーストラリア政府は2030年までに国内の温室効果ガス排出量を2005年水準よりも26から28パーセント減少させると確約しており、この目標を達成するためにタスマニアの再生可能エネルギーの潜在性が多大な役割を持つことになる可能性があります。

風

タスマニアにはワールドクラスの風電力資源があります。タスマニア島は地球の南高緯度を周回する激しい西風「ロアリングフォーティ」の軌道上に位置しています。現在、タスマニアにおける数多くの未開発の風力発電所地域が様々な支持者によって提案されています。これら提案されている風力発電所にはあらゆる開発段階があり、「実現前の段階」から「投資者の準備完了」プロジェクトまであります。

開発と環境を配慮した承認を得た「投資者の準備完了」プロジェクトに関しては、「グランビルハーバー風力発電所プロジェクト」の検討が打ち出されたことを政府は喜ばしいことであると捉えています。タスマニア西海岸では2億ドル規模のプロジェクトが完全承認を受け、現在、開発投資を探索している段階です。海拔120メートルにあるこの風力発電所は激しい西風「ロアリングフォーティ」の軌道上に位置しています。放牧場が広がる場所にあるこの発電所はタービンの土台であり、タスマニアにおいて最も孤立している場所の1つです。このプロジェクトは年間における炭素排出量を130,000トン以上減少させるクリーン再生可能エネルギーの提供を行う能力を持っています。

プロジェクトの設計には内部アクセスの監視ネットワークや隣接地下ケーブルとタービンの接続、風力発電地域へのアクセスとなる行路、タスマニアの電力ネットワークに繋げるための10.5kmに及ぶ送電線、変圧器変電所と開閉所1ヶ所、そしてプロジェクトに係る採石現場3ヶ所などが含まれています。広範囲に渡る環境、伝統、エンジニア、そしてアンケート作業がこのプロジェクトによって完遂されました。このプロジェクトには大きな制限もかかっておらず、地域社会からの強いサポートを受けています。

その他の風力発電所プロジェクトは様々な開発段階にありますが、現段階では投資を探索していないと理解されています。



バイオマス

タスマニアにはバイオマス プロジェクトに適した資源が豊富にあります⁴。ローテが行った研究⁵によると、最大330万トンのバイオマスを得ることができ、個人所有の栽培所が大きな容量を占めると示されています。これに加え、大量の農業、水産養殖、都市ゴミ製品がバイオマスやエネルギー生産のために使用することが可能です。

現在タスマニアには多くのバイオエネルギー プロジェクトがあり、これらは評価中または開発中です。そしてバイオエネルギーや再生可能エネルギー分野には、支持者がタスマニア内の事業や業界と連携を行ったり、本土のNEM参加会社への供給を行うといったさらなる機会も存在しています。

投資者の興味を求めているプロジェクトの中には、2300万オーストラリアドル規模であり、森林の残留物を使用する5MWのバイオマス発電所が含まれています。タスマニア州の南部(ヒューオン地域)に位置し、多数の木材加工事業との共同設置が提案されているこの発電所は廃材を現場電力に変換し、電力ネットワークに販売を行い、そして木材を乾燥させるために加熱を行うことになります。現在似たようなプロジェクトがタスマニア北東部(ドーセット地域)の特定の場所にて調査されており、実現前の研究では、今後この地域内における処理工場に存続期間20年間の木質バイオマスが年間150,000トン安定供給されるとの結論が出ています。地元社会の団体であるドーセット再生可能エネルギー業界はバイオ燃料、バイオエネルギー、そして木材ペレット生産のオプションを確立しており、これらの追求を行っています。

タスマニアに位置する2つの特定の工業地域において現在行われている開発には更なる機会があります。

大規模な食品や農産物の生産者がいるこれらの工業地域では、全体でおよそ10 – 30MWe必要であると予測されています。これは、熱/水流によって生み出される電力から供給される可能性を指摘しています。地元管理局である地域別の評議会では、これら工業地域が環境に優しいものであるように開発の後押しを行う焦点を置いています。これは現在実現前の段階にあります。

地熱

地熱エネルギーは、断続的で天候の影響を受ける太陽光や風といった再生可能エネルギー資源を補うことができ、安定し効率的で、持続可能であることが証明されています。オーストラリア政府は「5キロメートルよりも浅く、150°C以上の地熱エネルギー1パーセントにより、オーストラリアが必要とする総合エネルギーを26,000年供給できる可能性がある」と推定しています。

タスマニアはオーストラリアにおける最大地熱資源の1つを有していると推測されています。タスマニアの自然に起きる深い花崗岩の基盤岩は、地下水を高温岩体の乾燥した岩が堆積する場所に給水を行う工程である涵養地熱システム(EGS)の採用を可能とする環境を提供しています。これにより以前は入手することができなかったロケーションから地熱エネルギーを利用することが可能となっています。特に、表面熱流束データによると東中央タスマニアにおいて著しい熱的異常の存在が示されています。

過去数年間において行われた広範囲に及ぶ物理調査及び商業用資源評価によると、州全体に渡って広大な地熱資源があると推定されており、ドリルで穴を開けられる深さ(3 – 5km)、そして範囲の経済性の既存する送電線に導電の予測が含まれます。

このようなプロジェクトの1つにより260,000ペタジュールと同等である地熱資源の推定の模範⁷を特定しました。これは280MWの発電所を30年間稼働することができる容量です。この容量による潜在的プロジェクトは支持者がタスマニアや更に広い全国統一市場の両方における事業や業界と連携する機会を作り出しています。

4. 森林残留物ソリューション研究、第2段階 – 詳細オプション分析最終報告 – www.stategrowth.tas.gov.au/_data/assets/pdf_file/0015/135321/Residues_Solutions_Study_Stage_2_Report_final.pdf

5. ローテ, A (2013) エネルギー用の森林バイオマス: タスマニアにおける現在そして将来の使用及びヨーロッパの経験との比較 サバティカルプロジェクトの報告 ヴァイエンスユテファン大学応用化学部、フライジング、ドイツ

3. 競合可能市場における小売の機会

オーストラリアの電気小売市場では大規模な競合が行われており、北部準州及び西オーストラリアを除いた全ての州において電力供給会社の選択肢があります。

2012年7月1日以来、全てのタスマニアの電力会社の顧客は全国エネルギー顧客構想(NECF)に参加しています。NECFの目的は、オーストラリア内において電力小売りに関する規制を整備することであり、また国において顧客の保護を第一に実践することを確保する効率的な小売電力市場を作る事にあります。NECFは顧客に電力を販売または供給している小売業者や配電会社を対象に国における規制制度の設立を目指しており、地元社会と競争小売市場の相互作用を提供しています。

タスマニアにおいてNECFを実行する目的として、2つのタイプの顧客が存在します*:

- » 小規模の顧客は以下のとおりです:
 - ・ 全ての住居用顧客;そして
 - ・ 年間の電力消費量が150MW時以下の小規模事業の顧客
- » 事業顧客として年間少なくとも150MW時を消費する大規模の顧客

2014年7月1日、タスマニアの電力市場は完全な小売競争へと切り替わりました。現在、タスマニア経済規制局は標準小売契約が続いている小規模の顧客に対して電力価格規制の維持を行っています。顧客は価格規制のない市場契約を結ぶことも可能であり、これは契約条件において柔軟性が提供されています。ガスの価格は規制されていません。

タスマニアの事業顧客への積極的で堅実な競争が行われています。しかし、現職のオーロラ エネルギーと競合する住宅用電力供給業者による小規模の顧客市場への介入には引き続き機会が残っています。

政府の方針

2015年5月、タスマニア電力戦略が発表されました。この戦略には今後20年間における政策決定の指針となる計画です。これはタスマニアの地元社会との直接協議によって作成されており、今後将来に向けて対応する必要のある機会や挑戦への対処を行います。

関連する優先行動の1つとしては、将来に向けての低排出がより強く求められていることからタスマニアが多大な再生可能エネルギー資源の更なる活用を行うことが挙げられます。これには2つ目のバス海峡インターコネクターの慎重な計画も含まれています。現在、政府はこの件の実現性についての評価を行っています。そしてタスマニア政府は再生可能エネルギーの能力という利点を生かすための方針である再生可能エネルギー目標のサポーターでもあります。

タスマニア エネルギー安全保障特別委員会

2015 - 16において、タスマニアはこれまでの歴史において最も重大な安全保障に関する課題を経験しました。春/夏の期間における降雨量が記録的に少なかった(過去に記録された最小量の倍程度)ことに加え、バスリンクのケーブルが停止状態になるという2つの異常な出来事による影響により、ハイドロ タスマニアの貯水値が歴史的に低くなりました。これらの出来事を受け、タスマニア政府は政府に対してエネルギー安全保障を脅かすリスクに対する準備の向上や緩和の助言を行うタスマニア エネルギー安全保障特別委員会を設置しました。

6. オーストラリア政府、オーストラリア地球科学局 (2016) 地熱エネルギー資源 www.ga.gov.au/scientific-topics/energy/resources/geothermal-energy-resources
7. オーストラリア調査報告基準による結果により地熱資源が推測状態であると分類される、地熱資源及び地熱保全、2008年版
8. タスマニア政府 (2016) 電力改革とあなた、www.power.tas.gov.au/





結論

私達はタスマニアには再生可能エネルギー発電への投資に関して説得力のある事例が存在すると確信しています。私達の信念をサポート、そして存在する機会への洞察を提供して下さる支持者と関わられることを楽しみにしております。

タスマニアへの投資

運営統括事務局はタスマニアにおいて設立、移転、多様化、もしくは拡大を目指すあらゆる事業にとっての最初の連絡先です。私達の専門チームは潜在性のある投資者に対し、それぞれの要望に沿った援助を守秘義務のもと行います。

私達の役割:

- » プロジェクトの支持者や投資者が政府へ連絡を取る際の最初の連絡先としての役割
- » 政府に代わり、主要プロジェクトのケースマネージメントを実施
- » タスマニアの業界の素質や強み、事業機会、投資規制そして政府支援に関する情報提供
- » 個々の事業に最も適したタスマニアのロケーションの特定を行うための投資者への支援
- » タスマニアへの現地視察を手助けし、適切なミーティングや紹介の手配
- » 地元業界、政府局、可能性を持つ事業パートナーへの紹介提供
- » 輸出市場へのアクセスのサポート

連絡先

Level 1 Cornwall Square,
12-16 St John Street, Launceston
PO Box 1186, Launceston,
TAS 7250 Australia

電話: +61 3 6777 2786

Eメール: cg@cg.tas.gov.au

ウェブサイト: www.cg.tas.gov.au

免責事項

このパンフレットに含まれる情報の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の正確性、完全性、通貨、適合性に関しては一切保証しません。掲載されている内容の助言や省略などの行為に関して生じた損害等につきましても、理由の如何に関わらず、一切責任を負いません。自己の責任において法律、経済助言を受けてください。

協力

州発展省、TasNetworks、ハイドロ タスマニア、タスマニア鉱物資源局

© タスマニア州 2016年8月

写真提供: 画像協力 タスマニア政府、ハイドロ タスマニア、リチャードベネット氏及びTasNetworks

運営統括事務局

Level 1 Cornwall Square, 12-16 St John Street, Launceston
PO Box 1186, Launceston, TAS 7250 Australia
電話: +61 3 6777 2786
Eメール: cg@cg.tas.gov.au
ウェブサイト: www.cg.tas.gov.au